

令和6年度

子育て・家庭教育相談セミナーⅠ

と き：令和6年9月6日（金）

ところ：岩手県立生涯学習推進センター
YouTube ライブ



岩手県立生涯学習推進センター

会場参集で参加の皆様へのお願い

- 1 研修講座の開催中は、名札の着用をお願いします。
- 2 休憩及び昼食は、こちらの研修室か2階学習サロン、1階ラウンジ、喫茶コーナーをご利用ください。飲み物の自動販売機は、1階ラウンジ奥にあります。
- 3 館内は全て禁煙になっております。
- 4 携帯電話は、マナーモードに設定するようにお願いします。
- 5 大きな地震が起こった場合は、落下物や本棚等に十分注意のうえ、職員の指示に従って、速やかに非常口から避難するようお願いいたします。
- 6 貴重品の管理には十分にお気をつけください。
- 7 当センター職員が、セミナー中の様子を写真撮影する場合があります。これは、記録保存と、その一部を事業実施報告に活用（Web サイト「まなびネットいわて」上への掲載を含む）するためです。

つきましては、当センターの責任の下で写真データを使用・掲載しますので、予めご了承ください。なお、不都合がある場合は、当センター職員にお申し出くださるようお願いいたします。

オンラインで参加の皆様へのお願い

- ★ 配布資料等の無断コピー、流用、転載、また、講座の録音、録画は御遠慮ください（9月27日（金）までオンデマンド配信を行います）。
- ★ オンラインという特性上、当日の接続や運営にトラブル等が発生することも予想されます。当日の接続方法等のお問い合わせには、対応できかねますので、ご了承の上、ご参加くださいますよう、よろしくお願いいたします。



アンケートについて

アンケート回答フォームにつながる二次元コードです。
こちらをスマートフォン等で読み取っていただき、回答を送信して下さるようお願いいたします。

※特設ページにあるものと同じです

令和6年度 子育て・家庭教育相談セミナーⅠ 実施要項

「発達障がいと不登校にかかわる家庭支援と関係機関との連携のあり方」

1 目的

発達障がいと不登校について理解を深めるとともに、家庭への具体的支援や関係機関との連携のあり方を学び、支援者としての対応力を高める。

2 主催

岩手県教育委員会

3 主管

岩手県立生涯学習推進センター

4 対象

- (1) 青少年・家庭教育・子育て等の相談機関担当者
- (2) 県や市町村の家庭教育支援・子育て支援担当者
- (3) 社会福祉協議会の担当者
- (4) 学校関係者(市町村立小・中学校、義務教育学校、県立学校の教職員等や保護者)
- (5) 幼稚園・保育園・認定こども園等関係者
- (6) 放課後児童クラブ・放課後子ども教室、放課後等デイサービス、子育て支援拠点事業関係者
- (7) 県子育てサポーター、NPO法人、子ども食堂関係者等

5 定員

会場参集 200名まで

オンライン配信 (YouTubeライブ) 無制限 ※参加申込者限定オンデマンド配信有

6 期日

令和6年9月6日(金)

7 会場

岩手県立生涯学習推進センター

〒025-0301 花巻市北湯口2-82-13

TEL 0198-27-4555 FAX 0198-27-4564

8 受講申込み

「まなびネットいわて」から申し込んでください。

【申し込み締め切り8月30日(金)】

9 日程

【開会行事】 9:50~10:00 (受付9:30~)

【講義】 10:00~12:00

「発達障がいと不登校にかかわる家庭支援と関係機関との連携のあり方」

講師：常磐大学 人間科学部 心理学科 教授 秋山 邦久 氏

【昼食休憩】 12:00~13:00

【事例研究】 13:00~15:00

「関係機関との連携のあり方」

講師：常磐大学 人間科学部 心理学科 教授 秋山 邦久 氏

【閉会行事】 15:00

9:50~10:00

【開会行事】

- 1 開 会
- 2 主催者挨拶
- 3 閉 会
- ※ 諸 連 絡

10:00~12:00

【講義】「発達障がいと不登校にかかわる家庭支援と関係機関との連携のあり方」

講師：常磐大学 人間科学部 心理学科 教授 ^{あきやま} ^{くにひさ} 秋山 邦久 氏

講師紹介

<略歴>

大阪市立大学大学院修了(学術修士)し、秋田県職員(心理判定員)として児童相談所や福祉事務所、障害者相談所などに16年間勤務。2003年から文教大学大学院、2010年からは常磐大学大学院にて臨床心理士の養成に、2018年度からは公認心理士養成に携わる。また、弘前大学大学院、桜美林大学大学院の非常勤講師のほか、埼玉県白岡市社会教育委員、東京都をはじめ全国の児童相談所や教育委員会、保育所のスーパーバイザーを務めてきている。さらに、(株)越谷心理支援センターを立ち上げ、現在は顧問であり、現役のセラピストとして臨床実践を行っている。

<著作>

1. 辞典、辞書

- (1) 心理臨床大辞典【改訂版】 培風館
- (2) カウンセリング辞典 ミネルヴァ書房
- (3) 新版家政学事典 朝倉書店
- (4) 臨床心理学入門事典 至文堂
- (5) こころの問題事典 平凡社

2. 文部科学省検定済教科書

○中学校「技術・家庭 家庭分野」2012年/2018年/2022年 教育図書

3. 著書・論文(抜粋)

- (1) 「カウンセラーのための104冊」2005年 創元社
- (2) 「人間科学としての臨床心理学」2004年 金剛出版
- (3) 「子どものウェルビーイング」2005年 至文堂
- (4) 「軽度発達障害へのブリーフセラピー」2006年 金剛出版
- (5) 「年代別 子どものSOSは、こんなところに現れる」2007年 PHP 研究所

- (6)「日本の子ども虐待」2007年 福村出版
- (7)「子どもの救済とリーガルサポート」2008年 きょうせい
- (8)「心理学理論と心理的支援」2008年 弘文堂
- (9)「臨床家族心理学」2009年 福村出版
- (10)「児童相談所から見た家族問題」1998年 『家族関係学研究 17号』 日本家政学会
- (11)「転換期の児童福祉臨床」2005年 『こころの科学 119号』 日本評論社
- (12)「子どもの身体が語る心のサイン」2005年 『児童心理 NO.832』 金子書房
- (13)「思春期例に対するスクールカウンセラーの役割」2011年 『精神科治療学 Vol.26 No.5』
- (14)「心の支援と家族関係」2011年 『家族関係学研究第 30号』 日本家政学会
- (15)「状態・症状のアセスメント」2013年 『小児内科』Vol.45 東京医学社
- (16)「自己顕示欲が強い子への対応」2014年 『児童心理 No.982』 金子書房
- (17)「子どもの気になる性格とどう向き合う？」2014年
『子どもと私が育つ!楽しむ!育児情報誌 miku』(ブライト・ウェイ) 10-11 頁
- (18)「子どもの気質は変わりませんが行動は変えられます」2017年
『Baby-mo ベビモ 2017-2018 冬春号』第17巻第1号 通巻 147号 主婦の友社
- (19)「思春期心性の理解と支援」2015年 『小児歯科臨床 20巻』 日本小児歯科学会編
- (20)「過剰に我慢している子が出すサインー学校、家庭での気づきと支援」2015年
『児童心理 No.1010』 金子書房
- (21)「歯は口ほどに物を言い～口の中に映る家族の風景～」2016年
『小児歯科臨床第21巻第2号』 日本小児歯科学会編
- (22)「高等学校」2017年 『小児内科』Vol.49 No.5 東京医学社
- (23)「カウンセラーは『叱る』をどう考えるか」2017年 『児童心理 No.1044』 金子書房

13:00~15:00

【事例研究】「関係機関との連携のあり方」

講師：常磐大学 人間科学部 心理学科 教授 あきやま秋山 くにひさ邦久 氏

【メモ】

15:00

【閉会】

これからの推進センターの研修事業の予定

- ◆ 9月11日（水）
『地域安全防災研修会』
- ◆ 9月27日（金）
『事業プログラム企画運営研修講座』
- ◆ 10月8日（火）
『ICTスキルアップ研修講座④』
- ◆ 10月9日（水）11日（金）15日（火）
『ICTスキルアップ研修講座⑤』
- ◆ 10月30日（水）
『広報スキルアップ研修講座』

『人・つながり・地域づくり関係職員等研修講座』

10月18日（金）【花巻会場】…リカレント教育

11月11日（月）【久慈会場】…事業企画手法

11月26日（火）【陸前高田会場】…学生や若者を巻き込む地域づくり

生涯学習情報に関する問い合わせは

マナビィコール

<直通電話>

0198-27-4563

推進センター職員が迅速・丁寧にニーズに対応します

まなびネットいわて

岩手県生涯学習情報提供システム

<https://manabinet.pref.iwate.jp>



検索

X (旧 Twitter)